

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1291800124		
法人名	株式会社 ビジュアルビジョン		
事業所名	けあビジョンホーム東金		
所在地	千葉県東金市砂古瀬424番地14		
自己評価作成日	令和4年9月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	市川市富浜3-8-8
訪問調査日	令和4年10月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームでは入居者様おひとりお一人の個別ケアを大切に職員一同日々ケアを行っています。コロナ過ではありますが、月に一回のドライブを行っています。また、お料理やお洗濯等の家事を行うことで生活リハビリを行ったり、毎月の壁飾り作りなど様々な活動を入居者様の楽しみを増やしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「けあビジョンホーム東金」は庭や近所を散歩するだけで自然の癒しが得られる環境にある。散歩や野菜づくりが入居者の日課となっており、自然の恩恵を日々の生活の中で活かし、入居者ひとり一人が健康で充実した生活を送ることができるよう取り組んでいる。また、ドライブも毎月行なわれており、施設外の雰囲気に触れたり景観を楽しむ等、入居者の気分転換を図り、生活活性化に繋げている。重度化・終末期における施設の方針を明文化しており、入居者・家族への意向確認や同意も得ている。医師や訪問看護師と24時間連絡が可能となっており、重度化した場合や終末期支援に向け、連携体制を構築している。看取り支援の実績があり、必要機関との連携や経験を活かした柔軟な対応に努め、入居者・家族から安心と納得が得られていると共に、職員への精神面にも配慮しており、常に相談できるような環境を整え、看取り支援に臨んでいる。地域交流が盛んに行っており、町内会への加入やコミュニティホールの活用を通じて、地域住民との関りを深めている。現在、コロナ禍の為、地域との交流は中止されているが、コロナ禍収束後の活動再開を入居者・家族・地域住民が待ち望んでい

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		